

青少年問題協議会要点記録

日 時 平成 26 年 11 月 11 日(火)

午前 10 時から

場 所 市役所 5 階 502 会議室

議 題

1 平成 26 年度青少年健全育成関連事業上半期事業報告
各関係課長説明

2 平成 27 年度青少年健全育成重点目標(案)について
スポーツ青少年課長説明

3 平成 26 年度青少年健全育成標語の選定について
斎藤副会長説明

4 平成 26 年度青少年健全育成作文応募結果について
作文審査委員会委員長(教育長)報告

5 講演会 テーマ「薬物問題、危険ドラッグについて」

講師 埼玉県警察本部薬物銃器対策課

企画指導係 戸ノ崎 圭二 氏

- ・薬物犯は全国に約 13,000～15,000 人おり、うち埼玉県に 500～600 人いる。
- ・戦時中などは、夜通し働かせるため、覚せい剤を使っていた。当時は薬局でも売っていた。
- ・薬物被疑者の特徴は、半数が無職、半数が再犯者、半数が暴力団関係者
- ・暴力団関係者は覚せい剤を収入源としている。
- ・覚せい剤は主に海外から入ってくる（日本では製造にあたり、臭いがキツイため近隣住民に気付かれる）
- ・日本では 1 g 7 万円くらいで売られている。
- ・覚せい剤の特徴 ①覚醒する、元気がでる。
②だるい、動けない。
③前回よりも、もっと多い量でやるようになる。
- ・大麻の種は取り締まれない。（食品業者など困る人がいるため）

- ・北海道で栽培される場合がある。(植えておいて、一定期間後に収穫に来る若者の逮捕が多い。)

- ・薬物乱用の入口

- ①薬物乱用者のほぼ100%がタバコを吸っている。未成年者にタバコを吸わせないことが必要！(いきなり薬物をは敷居が高い。)

- ②ネットで簡単に購入できる。

- ③レイブパーティ(野外の大規模なパーティ)

- ④危険ドラッグ 違法薬物の化学構造をわずかに変えており、法律の規制外となる。薬物作用は似ている。店舗・ネットで簡単に入手可能

健康被害 精神：急性錯乱、幻覚、妄想、重度の呼吸困難

身体：おう吐、痙攣、呼吸困難、横紋筋融解症

交通事故を起こした後にレストランに逃げ込み建造物進入で逮捕

(異常行動)

強い依存症

指定薬物1,414物質+無数の未規制物質

未知の物質、量を使用しており、医者も治療が困難

- ・ハーブ系、リキッド系(液体)、パウダー系がある。

- ・以前は埼玉県内に約17店舗あったが、現在は減少傾向であり県内に3店舗ある。

- ・ハーブ製造工場は都内の見た目普通の一軒家で製造。

- ・薬事法の改正により、売る側のみならず、客も対象となった(H26.4～)

6 会議テーマ「青少年の薬物問題、危険ドラッグについて」

【教育長】

中学校では、年に1回薬物の講習を行っている。巧妙な手口で近隣にも店舗があることから、関係団体との連携を図りもっと啓発していきたい。

【石井委員】

少年の検挙は朝霞警察管轄内ではまだない。しかし、まだ捕まっていないという認識を持っており、捕まっていないだけの可能性もあり実態ははっきりとは分からない。危険性についてどう子どもたちに伝えていくかが重要であると思う。まずは、本日配布させていただいたチラシで啓発していただきたい。薬物は、現状として次から次へと新たな薬物が出てくるので簡易の検査キッドの製造がなかなか追いつかない。違法性があるかどうかについて科学捜査研究所に

提出し、時間を要するため、目の前に被疑者がいても逮捕できないケースもある。1回行うとなかなか抜け出すことができないのが、薬物の恐ろしいところである。

【西委員】

子どもたちにとってとても有効な講義をいただいた

【猪原委員】

自分自身ネットで検索してみたところ、たくさんヒットした。先生の話のとおり、まずは手を出さないようにさせることが大切である。自分が学生の頃、シンナーを使用していた人が講演をしていたことを覚えており、とても参考になった。学校でも経験者からの講演もよいのではないか。

【高野委員】

特別支援の生徒は薬物使用をなかなか断りきれない場合がある。社会全体で薬物乱用防止に取り組んでいく必要がある。NPO法人のダルクや、夜回り先生で有名な水谷修さんを以前の勤務校に招いて講演いただいたこともあるが一定の成果をあげられた。

【畠山委員】

青少年育成推進委員でも定期的にテーマに沿った講師より各種講演を行っている。先月も朝霞警察の方をお招きし、現場の声をいただいたところである。和光市は地理的に東京都と隣接しており、都内の子どもとも関連が多いようであり、犯罪に巻き込まれるケースもある。青少年の見守りにご協力をいただく青少年をまもる店が市内に206店舗あり、青少年の行動を日々見守っていただくようお願いをしているところである。

【出席者】

市長、副市長、教育長、佐久間、猪原、上篠、石井、木田、西、大谷田中、高野、稲垣、斎藤、村山、小林、田中、畠山、山崎川辺産業支援課長、こども福祉課長代理、事務局 スポーツ青少年課(深野課長、鈴木補佐、中蔦、小塚)